

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：母子保健指導費

事業名 周産期医療対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111(内3235)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 719 千円 (前年度予算額： 716 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	716	238	0	0	0	0	0	0	478
要求額	719	239	0	0	0	0	0	0	480
決定額	719	239	0	0	0	0	0	0	480

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県の周産期の体制を整備し、関係機関の連携の強化、保健医療従事者の質の向上を目的とし事業を行う。

(2) 事業内容

- ①周産期医療協議会の開催
周産期医療の課題の明確化と改善を図るための会議を開催。
- ②周産期医療関係調査の実施
周産期医療協議会で示唆された周産期医療ネットワーク体制の課題解決に向けた現状分析及び調査研究の実施。
- ③周産期医療関係者研修事業
災害時における小児周産期医療の調整を担当する「災害時小児周産期リエゾン」を養成するため、国が実施する研修会へ派遣。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/3（医療提供体制推進事業費補助金）、県2/3

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	263	周産期医療協議会委員報償費
旅費	393	周産期医療協議会委員旅費、業務旅費
需用費	13	協議会資料
役務費	26	郵送代
使用料	24	協議会会場使用料
合計	719	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・周産期医療の体制構築に係る指針
- ・第7期岐阜県保健医療計画 第3部—第2章—第9節 周産期医療対策

(2) 国・他県の状況

「周産期医療の体制構築に係る指針」において、都道府県は周産期医療協議会を設置し、周産期医療体制の整備に関する協議を行うこと、周産期医療関係者に対する研修を行うことを掲げている。

(3) 後年度の財政負担

県において、周産期に関する体制整備、新たな課題等への対応の検討が必要であり、今後も継続して事業を実施していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

「周産期医療の体制構築に係る指針」により、都道府県の役割として周産期医療体制整備が掲げられているため、県が事業を実施する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

周産期に関する課題について各関係機関が情報を共有し、課題解決に向け協議し、より安心して子どもを産み、育てられる体制を整える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

周産期の体制を整備し、関係機関の連携の強化、保健医療従事者の質の向上が本事業の目的であり、目標の達成度を定量的な指標で表すことができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 「周産期医療協議会の開催」令和3年1月25日 小児周産期分野での災害対応体制の整備等、新たな周産期医療の課題を含め、周産期医療体制に関する事項について協議を行った。
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 「周産期医療協議会の開催」令和4年2月4日 妊婦救急搬送マニュアルの改正等、周産期医療体制に関する事項について協議を行った。
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 2	周産期医療体制に関する情報の共有及び課題の検討を行うことで、より良い周産期医療体制の整備につながるため、事業の必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	周産期に関わる医師を中心に構成された協議会であるため、直面する現場の課題や最新の情報等を共有でき、体制の見直し等に反映できる。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	周産期に関わる医師を中心に一同に会し、協議を行うことで、時勢の変化に対応した周産期医療体制を整備することができている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 精神疾患を有する妊産婦の支援、災害時における周産期医療体制の整備についての協議会において検討が行われていない。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新たに発生する周産期に関する課題を随時把握し、それに対する解決策を検討していく必要があるため、継続して事業を実施する必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	